

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
スパーキングサマーカップ	2018/8/22	SIII	川崎	1600m	ハイペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	グラナディアーズ	牡7	57	岡部	ネオユニヴァース	サンデー系	フレンチデピュティ	ノーザン系	D	B	D	C	C	C		
2	2	イツガナハブ	牡9	56	赤岡	ケイムホーム	ミスプロ系	トニービン	ナスルーラ系	D	A	C	C	C	B	×2	
3	3	アルマワイオリ	牡6	57	町田	マツリダゴッホ	サンデー系	ビルサドスキー	ノーザン系	C	C	C	C	C	C		
	4	ファイトユアソング	牝7	54	本橋	スズカマンボ	サンデー系	アサティス	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		
4	5	タマモネイヴィー	牡7	57	左海	ネオユニヴァース	サンデー系	カコイシーズ	アリダー系	D	B	D	C	D	D		
	6	ウェイトアンドシー	セ7	57	今野	オレハマッテルゼ	サンデー系	エプロス	ミスプロ系	A	C	A	B	A	B	◎	
5	7	トキノエクセレント	牡10	58	高松	アツミラーレ	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	C	B	B	B	B	B	△3	
	8	ニシノラビート	牝7	55	瀧川	サウスヴィグラス	ミスプロ系	Dynaformer	ロベルト系	C	B	C	C	C	C		
6	9	オメガヴェンデッタ	セ7	57	森	ゼンノロブロイ	サンデー系	ホワイマズル	ノーザン系	A	A	B	B	A	B	△1	
	10	リアライズリンクス	牡8	57	的場文	ダイタクリーヴァ	サンデー系	マイネルラブ	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	△2	
7	11	モンドアルジェンテ	牡6	57	御神本	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	A	B	B	B	B	▲	
	12	ノースウッド	牡6	56	吉原	コマンス	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	D	A	C	C	C	C		
8	13	ミッキーヘネシー	牡9	56	繁田	ハーツクライ	サンデー系	Hennessy	ノーザン系	D	B	B	C	C	B	×1	
	14	アポロナイスジャブ	牡5	56	真島	アポロキングダム	ミスプロ系	トワイニング	ミスプロ系	C	B	B	B	B	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
ウェイ ニシノ オメガ アポロ アルマ リアラ ノース グレナ ファイ モンド イツ タマモ トキノ ミッキ	スパーキングサマーカップは4コーナーの位置取りで結果がほぼ決まるレース。過去5年の3着以内馬15頭のうち11頭は4コーナー3番手以内。必ずしも序盤から前に行けばいいわけではないが、先行できるか向上面から器用に動けるかが重要になる。今年は隊列が比較的読みやすいメンバー。軸はあの馬でいいだろう。それでは予想にいきましょう。	回顧
ハイペース	本命は ウェイトアンドシー を信頼する。JRAでは1000万下止まりだったが、地方に転厩すると3連勝で重賞初制覇。川崎マイルーズでは厳しい流れの中（前後半の800mは49.1-52.2）、オメガヴェンデッタ以下を振り切っており、着差以上に強い競馬。その後の2戦は敗れているが、京成盃グランドマイルーズは特殊な不良馬場かつキングガンズラングの奇襲にあって持ち味が生きず、ブラチナカップは勝ち馬がダートグレードレベルなので敗戦も仕方ないだろう。（以下省略）	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	グラナディアーズ		転入当初はそれなりに健闘していたが、近走は大敗続き。追走するだけで精いっぱいだろう。		
2	2	イツガナハブン	×2	どこまで通用するか未知数も、高知のマイル路線はそこまでレベルが低くないので、能力的に大きく見劣ることはないはず。正攻法の競馬では厳しいかもしれないが、ミッキーヘネシー同様、漁夫の利的に追い込んでくる可能性はあるか。		
3	3	アルマワイオリ		マツリダゴッホ産駒の適性はダートより明らかに芝。本馬のJRA時代の走りからもダート適性があるとは思えない。		
	4	ファイトユアソング		牝馬限定重賞と牡馬混合重賞ではメンバーレベルが格段に異なり、ニシノラピートが通用していない現状を見て本馬が通用するとは思えない。苦戦必至だろう。		
4	5	タマモネイヴィー		スタミナ型のネオユニヴァース産駒でマイルは明らかに短い印象。近走成績も冴えず、苦戦必至では。		
	6	ウェイトアンドシー	◎	川崎マイルーズでは厳しい流れの中、オメガヴァンデッタ以下を振り切っており、着差以上に強い競馬。その後の2戦は敗れているが、2戦とも敗因は明確。今回は川崎マイルーズと同じ川崎1600m。人気を背負う分、厳しい競馬にはなりそうだが、自分の形には持ち込めそうで重賞2勝目のチャンスと見た。		
5	7	トキノエクセレント	△3	前走ブラチナカップで2着ウェイトアンドシーから0.7秒差の6着。正直、見どころがあったわけではないが、ひと叩きされて良化を感じさせる内容で、叩き3走目でさらなる上積みがあれば、上位進出しても不思議ではないか。		
	8	ニシノラピート		社馬相手ではオープン特別でもワンパンチ足りない現状。同型に実力馬ウェイトアンドシーがいるので、展開的にも厳しくなるはず。		
6	9	オメガヴァンデッタ	△1	直近3レースの内容から評価を下げるつもりはなかったが、荒山調教師の「帰厩してからトモに疲れが出てケアしながらの調整。まだ良化途上でどこまでやれるかな。」というコメントが気がかり。荒山調教師は率直に話すタイプの人なので、おそらく状態はあまり良くないのだろう。		
	10	リアライズリンクス	△2	左回りのマイル戦がベストで、コース替わりで巻き返してくる可能性が高い。3走前の京成盃グランドマイルーズでは展開が向いたといえ、長期休養明けでウェイトアンドシー、オメガヴァンデッタに先着。当時のように道中で脚を溜められれば、直線でしっかりと伸びてくるはずだ。		
7	11	モンドアルジェンテ	▲	近2走は慣れない右回りがやや影響した可能性も。実際、転入初戦で勝利を挙げた皐月盃は左回りの1700m。川崎1600mに合うイメージはないが、皐月盃のように向上面から進出を開始すれば、一撃があっても驚けないか。		
	12	ノースウッド		JRA3勝はアポロナイスジャブと同じだが、金沢の重賞で掲示板止まりでは南関東重賞で通用しないだろう。		
8	13	ミッキーヘネシー	×1	昨年と同レースで上り最速をマークして4着に健闘。左回りのマイル戦はベスト条件で、乗り替わりはやや気になるが、前が勝手に崩れる展開になれば、3着くらいならチャンスはあってもいいだろう。		
	14	アポロナイスジャブ	○	転入初戦は1分44秒3の走破時計で物足りなかったが、2戦目を1分42秒1の好時計で勝利。直線は明らかに2着シグナルプロシードの勢いが上回っていたように見えたが、馬体が併さってからがしぶとく、見た目以上に余力があったのかもしれない。上りの出方を見てベース次第で時計はまだ詰められる。		